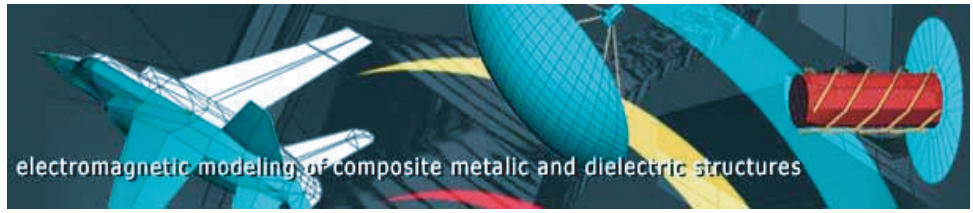
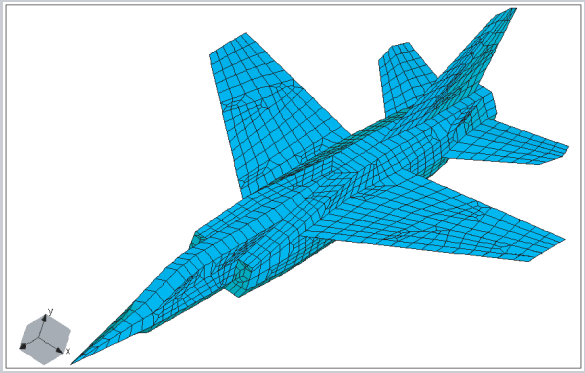
WIPL·D
software

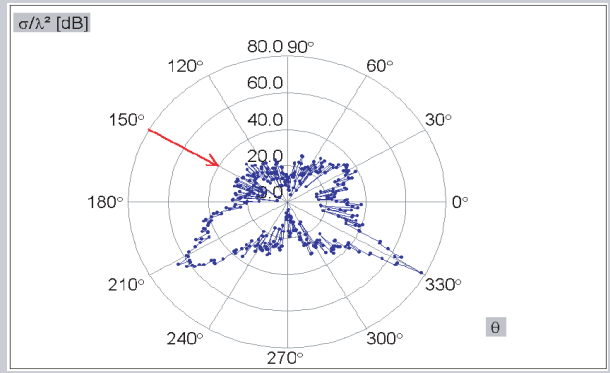


WIPL-D Pro v7.0 大規模問題の高速解析

MLFMM(Multilevel Fast Multipole Method)

- 高速・高精度解析を実現した高次基底関数モーメント法の能力拡大で大規模問題解析に寄与
- 必要RAM容量の低減化
- 解析時間の短縮化
- ユーザが選択したグループサイズでグループ化
- 第一レベル：グループ間の相対距離（寸法と距離の比）がユーザ設定の判定基準より遠い場合、グループ間の相互関係で計算
- 第二レベル：グループ内の計算では、パッチ間の相対距離（寸法と距離の比）を判定し、ユーザ設定の判定基準より遠い場合パッチ間の相互関係で計算
- それ以外は従来通りの計算





Parametric Sweep

- モデルがSymbols（変数）で作成されている場合、その変数をユーザが設定した範囲内でスイープし、その解析結果を得ることが可能

高次基底関数モーメント法
Japan
WIPL·D
software
Makes a difference

WIPL-D(Japan),Inc.

〒343-0845 埼玉県越谷市南越谷1-26-9-203
TEL048-964-7741／FAX048-969-0138／E-mail：support@wipl-d.jp/
URL：http://www.wipl-d.jp/